

★「<sup>りょうめんいんさつ</sup>両面印刷、<sup>たんぺんと</sup>短辺を綴じる」で印刷した後、<sup>いんさつ</sup>印刷した<sup>あと</sup>後、<sup>せんき</sup>線<sup>てんせん</sup>で切り、<sup>そ</sup>点線<sup>お</sup>に沿って折ると  
<sup>ちい</sup>小さなパンフレットのようにになります。

----- <sup>やまお</sup>山折り  
 ..... <sup>たにお</sup>谷折り

## 第1・2回

第1回大賞『四日間の奇蹟』  
 浅倉 卓弥/著 宝島社 2003

挫折した青年と脳に障害を負った少女が  
 山奥の診療所で遭遇する奇蹟。  
 癒しと再生のファンタジー。

第2回大賞『パーフェクト・プラン』  
 柳原 慧/著 宝島社 2004

せしめる金は5億円！誰も殺さない誰も  
 損をしない！  
 当時の世相を盛り込んだ誘拐ミステリー。

## 第4・5回

第4回大賞『チーム・バチスタの栄光』  
 海堂 尊/著 宝島社 2006

天才外科チームで原因不明の連続術中  
 死が発生！内部調査を命じられた医師と  
 厚生労働省の変人役人のコンビがたどり  
 ついた真相とは…現在まで続く医療ミス  
 テリーの人気シリーズ1作目。

第5回大賞『ブレイクスルー・トライアル』  
 伊園 旬/著 宝島社 2007

懸賞金1億円の大イベント「ブレイ  
 クスルー・トライアル」。数々の障害に立  
 ち向かい、突破するのはどのチームか!?

## 第7回

W受賞

第7回大賞  
 『屋上ミサイル』  
 山下 貴光/著  
 宝島社 2009

「屋上部」を結  
 成した高校生四  
 人。屋上の平和を  
 守るため、様々な  
 騒動に巻き込まれ  
 ることになるが、  
 それらはすべてひ  
 とつの事件に繋が  
 っていた…

2022.10

このミステリーが  
 すごい！大賞  
 を読みつくす①



LibraryNAVI  
 宮崎市立図書館

## 第6・7回

### 第6回大賞『禁断のパンダ』

拓末 司/著 宝島社 2008

新進気鋭の料理人・柴山は結婚披露宴で人間離れした味覚を持つ老人と知り合った。その翌日、神戸ポートタワーでひとりの男性の刺殺体が発見され…

### 第7回大賞『臨床真理』

**W受賞** 柚月 裕子/著 宝島社 2009

臨床心理士の美帆はある青年を担当することに。彼は、同じ福祉施設で暮らしていた少女の死は自殺ではなく他殺だというが…

著者の柚月裕子は、その後「孤狼の血」や「佐方貞人シリーズ」などを執筆しヒットメーカーとなった。

## 第3回

### 第3回大賞『果てしなき渴き』

**W受賞** 深町 秋生/著 宝島社 2005

失踪した娘を捜し求めるうちに、徐々に「闇の奥」へと遡行していく父。男たちの狂気の物語。

### 第3回大賞『サウスポー・キラー』

**W受賞** 水原 秀策/著 宝島社 2005

古い体質が抜けないプロ野球チームの中で孤軍奮闘する、頭脳派ピッチャー。彼は奇妙な脅迫事件に巻き込まれていく…

## このミス大賞 って何？

### 「このミステリーがすごい！」大賞とは？

2002年に新人作家の発掘を目的として宝島社、NEC、メモリーテックの3社が創設したミステリー小説の賞で、ミステリー要素があればSFファンタジーや時代物でも可という間口の広さが特徴です。ノミネートされた作品の多くが映像化され、ベストセラーとなっています。

